

# 考動・躍動・感動

## 体育祭を終えて～みんなの感想①～

私はクラス対抗リレーのアンカーとして出場しました。直前にはアンカーという責任感からとても緊張してしまいましたが、1位でバトンをもってからは“負けたくない”という気持ちだけで走りました。ゴールテープを切った時には、今まで味わったことのないようなうれしさを感じました。総合で4位だったけれど、私にとってリレーのあの感動は忘れることのできない、初めての体育祭の大切な思い出です。(A組 岩田愛美佳)

僕たち1年C組は、10人11脚の練習を始めた当初は息も合わず、走ることができなかつたのですが、練習をしていくにつれて、その成果が現れるようになりました。そして本番、応援していたクラスのみならず10人11脚の人たちの心が一つになり、今までで一番速く、息の合った走りができ、優勝することができました。“力を合わせれば、みんなが一つになれる！”ということ、この体育祭で学びました。合唱祭も頑張りたいです。(C組 湊琉)

初めての体育祭は、みんな最初はやる気がなくて最下位かと思ったけど、E組は団結力を体育祭当日に発揮して練習ではできなかったことができて、クラスの団結を感じました。(E組 小椋ひかり)

まさか体育祭がこんなにも盛り上がるとは思ってなくて、予想以上にとても楽しかったです。私たちのクラスは勝つとかは無理だろうと言っている人もいましたが、綱引きは見事に優勝しました。あの時のクラスのみならず本当に団結していました。みんながそろって力を合わせれば勝つことができるんだなと思いました。団結することの意味に気づきました。(H組 新川英)

体育祭の準備など全体的に楽しくできた。自分だけでは無理な競技でも、頑張って全員で協力することができたので総合で一位になった (B組 山田蓮介)



小学校の運動会は、走ったり跳ったりすることが多くキレイだったけど、クラスが1つにまとまったという実感がわかりませんでした。しかし、中学校の体育祭は自分の好きな種目に出られるからとても楽しかった。それに自分たちで声をかけ合って練習して満足のいく結果が出ると、とてもうれしいことが分かった。(D組 森本雛多)

僕はリレーでこけてしまい、そのせいでF組は優勝することができませんでした。それなのにみんなは優勝したかった気持ちを抑えて、「しょうがない!」「ドンマイ!」と言って、励ましてくれたので、本当にうれしかったです。そして、F組で良かったと思いました。(F組 菅原慎司)

ありきたりだけど、1番は「団結力」を学びました。大縄は最初、1・2回跳べるか跳べないかだったのに、17回くらい跳べるようになっていました。クラス旗も何人かのアイデアをもとに居残りをして作りました。結果はどうであれ、団結力の大切さ・重要さを体育祭から学びました。来年はこの経験を生かし、クラスで団結して優勝したいという気持ちも感じました。(G組 日比野綾音)





10人11脚の様子



大縄跳びの様子



控え席での様子



綱引きの様子

